

学校関係者評価書

平成 28 年 9 月 3 日開催

名古屋工学院専門学校

1. 学校の重点目標

1. 教員の質

1) 公開授業を通じた教員相互間の評価、学生授業アンケートのフィードバック、あるいは教員研修への積極的参加などを実施することにより、教員の教育力向上を図る。

2. 教育内容の質

1) グランドシラバスおよびそれに基づくシラバスの点検・整備などにより、自らカリキュラムの更新を継続するとともに、教育課程編成委員会において企業からのアドバイスをいただくことにより、社会から必要とされる知識・技術の導入を図る。

2) より実践的な教育を進めるため、企業あるいは関連業界団体とのよりいっそうの連携を図る。

3. 教育成果の質

1) 各分野・学科が設定している教育目標の達成度向上に向けた工夫を行い、より高い成果を実現する。

2) 就職を教育成果の最終成果ととらえ、就職率向上に向けた施策を実施する。

4. 学習環境の質

1) 学生が、日常において教育を受け生活する校舎ならびに教育施設・設備の充実について、継続した施策を実施する。

2) 卒業直前に、在学期間における本校の教育サービス全般(ハード面、ソフト面)について学生の満足度調査を行い、その結果に基づいて学習環境の改善を図る。

2. 学校の重点目標に対する評価・意見

- ・学校の取り組み、方針、自己評価としては適切であると判断させて頂きました。
- ・教育の質について第三者の視点での評価を取り入れる事は難しいでしょうか。
- ・教育成果の質について、就職を最終成果とした場合、企業が求める人物像とのマッチングを行えると思います。
- ・学習環境の構築が必要ではないでしょうか。
- ・企業説明会を昨年度以上に多くに開催してはいかがでしょうか。
- ・教育の質の向上について適切な質の向上があったと判断します。
- ・常に新しい知識・技術・技能を取り入れ、御校独自ならでの企業が求める人材育成を推進して頂くことを期待します。
- ・学校の目標が明確にしてあり、目標達成に向けての取り組み及び評価も適切に行われていると感じました。
- ・保護者としては、常日頃より安心して子供を任せられる学校だと感じているが、今回の報告を受けて、より一層安心感が高まりました。
- ・業界のニーズに向けての方向づけについては、今や日進月歩ではなく分進秒歩に進む技術や、業界の状況変化により難しい面もありますが、適切に評価されていると感じられました。
- ・学校運営・教育活動等の評価も若干厳しい見方で評価されている感がありますが、適切に評価されていると思います。
- ・就職率の向上の取り組みについて、それぞれの学生個人の個性があり、意識レベルの差や企業の採用スタンスも様々であるため、結果からみた評価という面では、適切に評価されていると感じられました。

3. 学校自己評価報告書についての評価点の平均

基準ごとに次の3点について4段階で評価してください	学校が行った自己評価の結果が適切かどうかについて。	学校運営等の改善に向けた実際の取組みが適切であったか。	自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切であったか。
	4: 適切な評価である 3: ほぼ適切な評価である 2: やや不適切な評価である 1: 不適切な評価である	4: 十分適切な取組みである 3: ほぼ適切な取組みである 2: あまり適切とはいえない取組みである 1: 適切とはいえない取組み	4: 十分な効果が期待できる 3: ほぼ十分な効果が期待できる 2: あまり効果が期待できない 1: 効果は期待できず、改善を要する
(1) 教育理念・目標	4	4	4
(2) 学校運営	4	4	4
(3) 教育活動	3.8	3.8	3.8
(4) 学修成果	4	3.7	3.8
(5) 学生支援	4	4	4
(6) 教育環境	4	3.8	3.8
(7) 学生の受入れ募集	4	3.3	3.5
(8) 財務	4	4	4
(9) 法令等の遵守	4	4	4
(10) 社会貢献	4	4	4
(11) 国際交流	3.8	3.7	3.7

4. 今後の改善方策についての意見

- ①資格取得、実務重視の姿勢は学校の特徴として堅持しつつ、それぞれの学科に適切な学生が志望するような取り組みをさらに強化して頂きたいです。
- ②就職率はすでに十分な数値だと思いますが、学生の希望する進路に向けての指導方法などにより一層充実されるとよろしいかと思えます。
- ③学生と企業を結びつける取り組みを行ってほしいです。(アルバイトの斡旋等)
- ④継続的に評価委員会を実施していただきたいです。
- ⑤企業が求める人材＝就業意識の高い、コミュニケーションがとれて対人関係が築ける人材だと考えられます。
- ⑥就職率向上に指導教員だけでなく、名産会会員企業や外部講師を活用し、そういった学生の就職に対する意識の醸成を一年次から実施していただけたらと思いました。
- ⑦就職率・退学率・資格取得者数以外の項目でも評価判断材料として、目標・経過・結果を数値化ができる項目は数字で表してみたいかでしょうか。(連携企業数、コンテストやセミナーの参加者数・参加率など)
- ⑧防災に関する危機管理マニュアルは、完成期日目標を掲げ、早期に完成していただきたいです。
- ⑨電波学園創立よりしっかりと、教育理念のもと、多くの学生を育成され世に送り出していますので実績がありますが、学園の宣伝広告が少し地味な気がします。
- ⑩学生に対しての面接指導を色々な角度から実施していき明るく、元気に、爽やかに！を基本とした、技術スキルを付加価値とした人材を社会に送り出していくことで必然的に就職率向上に繋がると思えます。
- ⑪社会が必要とする人材は、情勢により日々変化していますし職種も様々です。すべての守備範囲にするのは難しいですが、日々の変化をより早く認識して情報収集できる体制づくりと、アンテナ設置ができると望ましいと思えます。単一指向性でもよいのです。都度そちらの方向に向かっていくことで、個性ある人材の育成に対応していけるのではないかと思います。
- ⑫教育環境の整備に対しては、今の時代に合ったプロフェッショナルを育成する特色を持った学校として、最先端の技術をなるべく多く体験できる機材やカリキュラムを今以上に対応していただきたいと思えます。
- ⑬海外留学生の受入れについての条件の検討もさることながら学生の語学力向上もできると望まします。海外出張・海外赴任が当たり前の時代になっていますので、技術英語に関してのスキルも考慮した、カリキュラムの取り入れははいかがでしょうか。
- ⑭評価報告書を拝見いたしますと、日頃からマジメな学校として運営されてきていらっしゃる事が強く感じられます。今後も学生に対するご指導の程、よろしくお願いいたします。

5. 今後の具体的な改善方策

- ①体験入学や入学相談会、または学校見学会や進路ガイダンスなどで、日頃から学校の魅力が伝えられるように、ステークホルダーに対して情報を提供している。将来の仕事に対する自分の姿がイメージできるような情報提供を広報活動で伝えていきたいと考えている。
- ②就職活動においては、学生本人と保護者から希望を聞き、学生の能力を見定めた上で、ミスマッチが起らないよう就職先を斡旋している。今後もより一層の就職サポートをしていきたいと考えている。
- ③アルバイトの斡旋に関しては、企業側から要望があればキャリアセンターを通して学生に斡旋している。今後も要望に対して斡旋していく考えである。
- ④学校関係者評価委員会に関しては、継続して実施していき、今後も評価委員の方からご意見をいただき、学校運営の改善に努めていきたいと考えている。
- ⑤⑥企業が求める人材を育成するための取り組みとして、企業様のご協力の元、就職支援セミナーと業界研究セミナーを平成27年度は27回実施しており、学生の育成に役立てている。また、一部の学科においては、入学直後に企業様のご協力を得て、新入生対象のセミナーを実施している。今後はその他の学科においても、同様に就職に対する早期意識付けができる体制を整えていきたいと考えている。
- ⑦コンテストやセミナーに関しては、実績に重点を置いた数値が公表の対象となっているため、今後は参加者数と参加率の必要性を吟味した上で、公表すべきか検討をしていきたいと考えている。
- ⑧危機管理マニュアルの作成に取り掛かっている。早急に完成を目指したい。
- ⑨数年前にメディアを利用した広報展開を検討したが、費用対効果を考え現状の広報活動(高校訪問)を主体として実施してきた。しかし、昨年度から学園が独自で運営している広報媒体「ThanksVision(サンクスビジョン)」を利用して映像コンテンツの放映を行っている。「ThanksVision」は金山総合駅周辺のビル壁に設置されている大型テレビジョンであり、一般の方を含めた多くのステークホルダーに向けて情報発信ができるため広報的効果に期待したい。今後も放映する映像コンテンツの製作していく考えである。
- ⑩就職活動を通じて社会人としての一般知識や人間性を学べる環境を提供しており、今後もより一層の努力をしていく考えである。
- ⑪社会が必要としている人材育成に関しては、今後、新しく誕生すると思われる多くの職種に対して、社会に適合できる人材育成ができるよう、新しいアイデアを盛り込んだ教育が展開できる取り組みをしていく考えである。
- ⑫教育環境の整備に関しては、先端の技術に合わせた機材を導入し、年度ごとに設備計画を立案し実施している。また、新しい技術を導入するために、教員が技術セミナーに参加して最新の情報を得る取り組みを実施している。今後も継続して実施していく考えである。
- ⑬グローバル社会において学生の語学力向上に取り組んでいきたいと考えているが、専門技術・技能の取得を優先する必要があるため、現状は取り組めていない。今後、検討課題として取り上げていきたいと考えている。
- ⑭学園建学の精神の具現化に向けて、人間性豊かで、社会に貢献できる人材育成に努めていきたいと考えおり、「学校の魅力づくり」を進めていきたいと考えている。